

学外の医療施設等を対象とした看護研究支援ガイドライン（年間での派遣：人間科学系教員1名、看護系教員1名）

	研究支援モデルⅠ	研究支援モデルⅡ	研究支援モデルⅢ
到達目標	看護研究の必要性を理解し、看護研究に取り組む姿勢ができる。 日常業務改善や事例検討などを研究的レベルにするための基本的能力を取得する。	研究を行うメンバーが研究的手法を用いて、看護実践の改善やケア方法の開発など、新たな知見を得るための研究に取り組むことができる能力を取得する。 ・統計的手法を用いた分析ができる。 ・文献等を用いて考察を深めることができる。	施設で研究に取り組むメンバーへの支援ができる。 （研究者に直接ではなく、施設内で研究指導できる体制となるよう施設内の指導者を育成する）
支援対象	【初めて研究に取り組む個人またはグループへの支援】 ・3テーマまで（1教員あたり） ・病棟単位など年間を通した研究支援	【看護研究の内容を高めたい人への支援】 ・3テーマ程度（1教員あたり） ・研究に取り組みたいと考えている看護研究経験者	【施設の研究を指導する立場の人】 ・1テーマまで（1教員あたり） （教育担当、師長、副師長、院内の研究指導者等）
支援内容 （モデル） *具体的な支援方法については、担当者と施設側で相談をして決定する	・テーマの決定からまとめまで、研究の一連の流れを体験できるよう係る（業務改善、事例検討等） ・研究的取組への準備として文献検索ができる ・「研究とは」、「文献検索」、「データのまとめ方」等の講義 ・院内研究発表会での講評を行う	・テーマの決定から計画・実施・分析、論文作成（プレゼン）の研究の一連の流れに係る ・研究的視点を明確にして、長期的なテーマで研究がすすめられるよう係る ・学会発表、論文作成の支援 ・院内発表会では相互にコメントをする	・看護研究に取り組む体制について、どのような方法が妥当かを相談する ・研究指導で困った際のサポート（随時） ・必要時、講義など直接的な支援
施設訪問による 面談支援回数	3～4回/年	2～3回/年	1～2回/年
上記以外の支援	学内での面接、メール、電話での支援については、すぐに対応できない場合があるので、時間に余裕をもってご連絡下さい。		
支援期間	1施設 最大で3年間	1テーマ 最大で3年間	1テーマ 最大で3年間
備考	希望があれば研究支援モデルⅡへの移行支援も行う	支援の内容により、論文等の成果発表では、共同研究者として派遣講師名を掲載。	

*共同研究については別途相談

*モデルⅠ、モデルⅡが混在することもある。